

第89回全日本男子ホッケー選手権大会

第 1 日

開催日時 12 月 11 日 (金) 会場 親里ホッケー場 天候 雨

<p><B組></p> <p>ALDER 飯能</p> <p>勝点3 1勝</p>	<p>3</p>	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$	<p>0</p>	<p>明治大学</p> <p>勝点0 1敗</p>
<p><A組></p> <p>箕島クラブ</p> <p>勝点1 1分</p>	<p>1</p>	$\begin{pmatrix} 0-1 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	<p>1</p>	<p>立命館大学</p> <p>勝点1 1分</p>
<p><B組></p> <p>名古屋フラーテル</p> <p>勝点3 1勝</p>	<p>3</p>	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-1 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	<p>1</p>	<p>天理大学</p> <p>勝点0 1敗</p>
<p><A組></p> <p>山梨学院大学</p> <p>勝点3 1勝</p>	<p>4</p>	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \\ 2-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	<p>0</p>	<p>福井クラブ</p> <p>勝点0 1敗</p>

< B組 >

ALDER 飯能 3 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 2 & -0 \end{pmatrix}$ 0 明治大学

勝点 3
1勝

勝点 0
1敗

3	PC	2
6	シュート	3

得点	飯能→ 15分草野、49分伊藤、50分北里
戦評	<p>飯能のセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々、両チームとも猛攻を仕掛ける。5分、明治がPCを獲得。シュートを放つもゴールマウスをとらえきれない。一方、飯能は素早いビハインドからカウンターを仕掛けるも得点に結びつけることができない。しかし14分、飯能はPCを獲得。FW草野がリバウンドを押し込み先制する。1-0の飯能リードで第1Qが終わる。第2Qも両チームとも激しい猛攻を仕掛け得点のチャンスを作るが、1-0のまま。反撃する明治大は第3Q、48分にPCを獲得。DF谷光がフリックシュートを放つも、飯能GK清治を崩せない。第4Q開始早々の49分、飯能はMF伊藤がタッチシュートを決めると、50分にもFW北里がセンタリングをダイレクトシュートで決め明治を突き放す。明治は猛攻を仕掛けるが得点に結びつけることが出来ず、3-0で飯能が勝利した。</p>

テクニカルオフィサー	千野雅人	ジャッジ	今庄充世
アンパイア	児玉茂樹		樋口修
	西山宏明		奥田好廣

< A組 >

箕島クラブ 1 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 1 立命館大学

勝点 1
1分

勝点 1
1分

3	PC	3
3	シュート	6

得点	箕島→38分田中健 立命→6分曾根
戦評	<p>箕島のセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々、箕島のエースFW田中健がリバースシュートを放つも立命GK前田の好セーブで得点できない。両チーム激しい攻防を繰り広げる。6分、立命はFB曾根がバックライン付近でドリブルから見事なプッシュシュートを決め先制し、1-0で第1Qが終わる。第2Qも両チーム激しい攻防を繰り広げる。両チーム得点のチャンスを作るも得点できず、立命のリードで第2Qを折り返す。第3Q、35分に立命はPCを連続獲得するも得点出来ない。38分箕島はFW田中健がタッチシュートを決め、1-1の同点とし、第3Qが終わる。第4Q開始早々、流れを掴んだ箕島はPCを獲得。しかし得点には繋がらない。勝ちたい立命はじわじわと箕島陣内で優位にゲームを進めるが箕島の堅守により追加点を奪えず1-1の同点で試合終了する。</p>

テクニカルオフィサー	馬場治男	ジャッジ	中野典子
アンパイア	高橋英行		上城智佳子
	藤原信幸		中村康夫

< B組 >

名古屋フラーテル	3	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-1 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	1	天理大学
勝点 3		勝点 0		
1勝		1敗		
3	PC	3		
6	シュート	5		

得点	名古屋→2分柳本、21分藤本、56分佐々木
	天理→22分山水
戦評	<p>名古屋のセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々、名古屋FW橘のパスをMF柳本がダイレクトシュートで決め先制する。序盤から両チームとも激しい猛攻を仕掛け、チャンスを作るも得点に結びつけることが出来ない。1-0で名古屋のリードで第1Qを終える。</p> <p>第2Qも速い展開の攻防が繰り広げる。天理は20分PCを獲得するも得点出来ない。落ちついて攻める名古屋は22分、PCのリバウンドをFW藤本が決め2-0とする。その直後、天理MF山水がセンターリングをダイレクトシュートで決め1点差と迫る。2-1の名古屋リードで第2Qを折り返す。</p> <p>第3Q開始早々から、名古屋がPCを獲得。DF畠山のフリックシュートを放つも天理GK吉川の好セーブにより得点できない。その後両チームチャンスを作るが得点に結びつけることができない。2-1のまま第3Qを終える。</p> <p>猛追する天理は第4Q開始早々、PCを獲得するも得点できない。両チーム激しい攻防が続くなか56分名古屋がPCを獲得。DF佐々木がフリックシュートを決め3-1と再び引き離し、3-1で名古屋が勝利した</p>

テクニカルオフィサー	平尾豊	ジャッジ	今庄充世
アンパイア	成田健一		樋口修
	渡邊道彦		奥田好廣

< A組 >

山梨学院大学	4	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \\ 2-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	福井クラブ
勝点 3		勝点 0		
1勝		1敗		
4	PC	2		
10	シュート	3		

得点	山梨→ 4分小沢、38分伊藤、44分小川、57分山崎
戦評	<p>福井のセンターパスにより試合が開始された。両チームとも激しい攻防を繰り広げる。4分山梨のFW小沢がドリブル突破からプッシュシュートを決め先制する。その後も、チャンスを作るが得点に結びつけることができず、1-0で第1Qが終わる。</p> <p>第2Qも山梨の猛攻は続く。山梨がPCを獲得。DF伊藤がフリックシュートを放つが、これはゴールマウスを捉えきる事が出来ず互いに無得点のまま第2Qが終了した。</p> <p>第3Q、逃げ切りを狙う山梨に対して、何とか得点の欲しい福井は反撃を仕掛けるが山梨がPCを獲得。これをDF伊藤が左中段に決め2-0とした。その後、福井クラブがすぐにPCを獲得するも山梨は堅い守りで防ぐ。44分、またも山梨が素早い攻撃から3点目を挙げる。</p> <p>第4Qも必死で攻撃を仕掛ける福井の隙を突き、59分、山梨はFW山崎がGKのリバウンドを押し込み4-0の圧勝で初戦を飾った。</p>

テクニカルオフィサー	馬場治男	ジャッジ	中野典子
アンパイア	木下英貴		上城智佳子
	野澤達		中村康夫